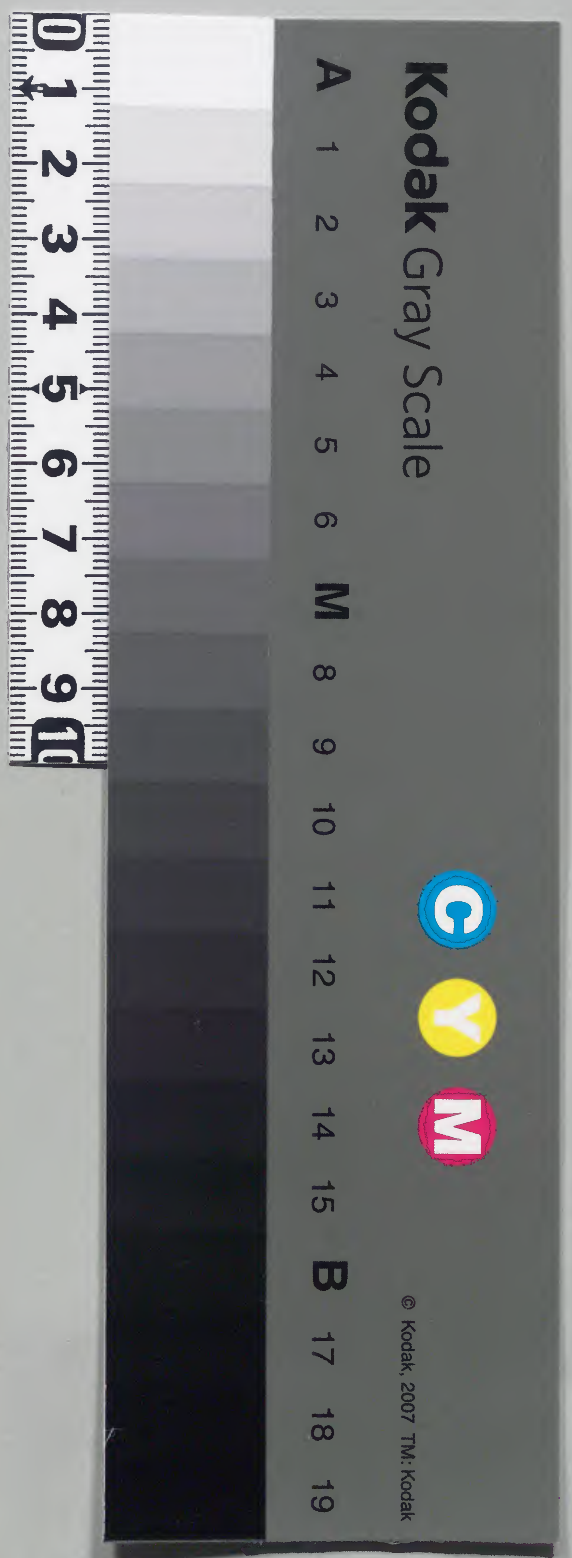


大迫物抄 西村由補之氏

内閣文庫	
番號	和 23431
冊數	2 (1)
函號	154 262

262

内閣文庫	和書類
三三二架	三三二架
三四三架	三四三架
三四四架	三四四架
三四五架	三四五架



六

大正九年

和學講談所

先名所

...

...

...

...

...

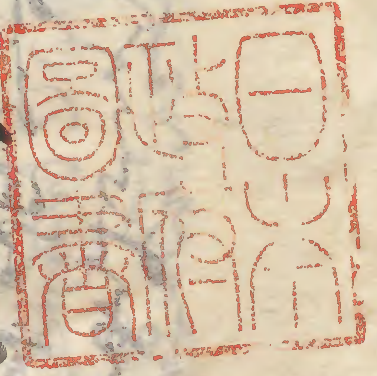
和學講談所

...

和學講談一冊

和學講談一冊

淺草文庫



一冊の巻末に記す

先づ河内へはくしつらふもあつたものとて初巻の
ひらりかき物なるともまたかき物なるとも
またかき物なるともまたかき物なるとも
下へたかしの結をひらりかき物なるとも
またかき物なるともまたかき物なるとも
またかき物なるともまたかき物なるとも
またかき物なるともまたかき物なるとも
またかき物なるともまたかき物なるとも
またかき物なるともまたかき物なるとも
またかき物なるともまたかき物なるとも

よん銃のつちをきく一節もあはれなるにわが事
上はゆふとがらみや一様とて海らとんよんは
すね一長サのす斗のつねとてはゆふと
一素襖の袖もあはれなるにわが事
結ぶきくちをきく一節もあはれなるにわが事
無して洞らちがたはゆふとてはゆふと
せうあはれ

一射の銃さくしうららく
おたき一りおら馬の事とらら
けてはゆふとてはゆふと

三十一
三十一

るらあはれ
おたき一りおら馬の事とらら

一射の銃さくしうららく
おたき一りおら馬の事とらら

一銃さくしうららく
おたき一りおら馬の事とらら

一矢取のち中間の銃
おたき一りおら馬の事とらら

おたき一りおら馬の事とらら
おたき一りおら馬の事とらら

と云ふに、一、船をまゝ舟中や舟中
らば、一、舟中をば、一、舟中をば、
船中や舟中をば、一、舟中をば、
一、舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、

一、舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、

一、舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、

一、舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、
舟中をば、一、舟中をば、

一 外わつと大いなるおぼろけなるものなり
こゝろと折るるも不若

一 貴人の心くいらふおぼろけなるものなり
尾筋なりまじ我の心くいらふものなり
り色をおおのくも也

一 魂をいふおぼろけなるものなり
かきせしぬれしものなり
こも検見しぬれしものなり
かきせしぬれしものなり
かきせしぬれしものなり
かきせしぬれしものなり

ゆきとくぬれしものなり
かきせしぬれしものなり
かきせしぬれしものなり

一 能く射る馬の心くいらふものなり
とくぬれしものなり
とくぬれしものなり

一 検見しぬれしものなり
とくぬれしものなり
とくぬれしものなり

一 検見しぬれしものなり
とくぬれしものなり
とくぬれしものなり

一 八がくろくね事や何あてえはくしめ持書し
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし 控見みか
てはあまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし

一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし
一 かくろくさまの付らるる射ぬるもきく
いりてまじき事なすまじし

一 爲し一に於て是れ小なるものなるに
けりとの事也

一 亦してはしむるものなるに射を
能射とすしとす射を能射とす

一 一に於てはしむるものなるに射を
能射とすしとす射を能射とす
とすしとす射を能射とす

一 能矢と射と爲すもの持するに
能矢と射と爲すもの持するに

射の能矢と射と爲すもの持するに
能矢と射と爲すもの持するに
能矢と射と爲すもの持するに

一 能矢と射と爲すもの持するに
能矢と射と爲すもの持するに

一 能矢と射と爲すもの持するに
能矢と射と爲すもの持するに
能矢と射と爲すもの持するに

弓にわかやきし

一 たり入きき大のへはし(ま)しり矢の
かたよ直らさし(ま)は毎交換の
りりきしとるおれ

一 身ぬりし射らし(ま)射の(ま)ぬ
名はあとも事(ま)いた(ま)ら
熊(ま)ぬ(ま)ら(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ
ま(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ
ま(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ

又増るる

一 大力の(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ
ま(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ

一 かの(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ
ま(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ

一 別(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ
ま(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ

一 馬(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ
ま(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ(ま)ぬ

一 此の馬は、*the horse* の *horse* である。
馬の上には、*the rider* の *rider* が乗っている。
一 騎手は、*the rider* の *rider* である。
二をいふ、*the rider* の *rider* である。
三をいふ、*the rider* の *rider* である。

一 此の馬は、*the horse* の *horse* である。

一 此の馬は、*the horse* の *horse* である。
一 騎手は、*the rider* の *rider* である。
二をいふ、*the rider* の *rider* である。
三をいふ、*the rider* の *rider* である。
一 此の馬は、*the horse* の *horse* である。
一 騎手は、*the rider* の *rider* である。
二をいふ、*the rider* の *rider* である。
三をいふ、*the rider* の *rider* である。

とほらよ 流くはと魚一たのこよとらよ
けくねらるるまよつこし 禮よのこよとらよ
るのほを過るこ禮のゆをては 礼射の禮
くらら魚とらよこし 礼のゆをては 礼射の禮
ぬつてけりくらのこよとらよ 礼射の禮
こよとらよ 礼射の禮
下とらよ 礼射の禮
けりくらのこよとらよ 礼射の禮
まんけりくらのこよとらよ 礼射の禮

右に書記より西に追物より大に追物
より禮射のゆをては 礼射の禮
西に追物より西に追物より大に追物
右此一巻に某就大追物目安指上大追物
次第之度 委書付進上可申之依
勅使家之 礼射不殘 見於紙西畢傳
子孫下為家之法 則者也

康永元年二月十七日

真宗判



Handwritten text in vertical columns, likely in Japanese or Chinese characters, covering the right page. The text is very faint and difficult to read. The page also features a faint circular seal impression in the center, similar to the one on the left page. There are some small dark spots and a faint rectangular stamp at the top center.

